

人権という希望

2011/6月

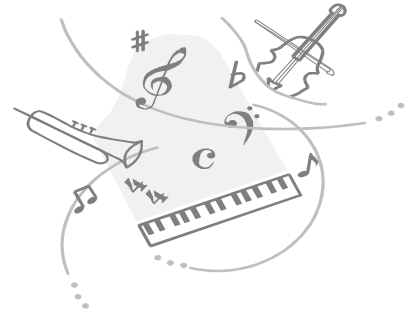
題字には、人権はどんな苦しさものりこえる希望の力だ、という意味をこめています。

第11回人権のつどいのお知らせ

新井満さん出演決定!

希望—絶望の中から立ち上がる命

(仮題)



日時 12月3日(土) 午後

会場 国際文化理容美容専門学校
国分寺校ホール

「千の風になって」の作曲・訳詞をした新井満さんが人権のつどいに出演します。ご自身も震災を経験した新井満さんが、災害と命、そして絶望の中から立ち上がる希望について語ります。皆様お誘い合わせてお出かけください。

講師プロフィール

作家、作詩作曲家、画家、写真家、長野冬季オリンピック開閉会式イメージ監督など、多方面で活躍中。

1946年新潟市生まれ、上智大学法学部を卒業後、電通に入社。

小説家としては1988年『尋ね人の時間』(文藝春秋社)で芥川賞を受賞。

2003年11月に発表した写真詩集『千の風になって』(講談社、朝日新聞出版社)と、それに曲を付け自ら歌唱したCD『千の風になって』(ポニーキャニオン)は現在もロングセラーを続けている。

同曲で2007年レコード大賞作曲賞を受賞。



人権の風

住宅再建や産業復興を求めることは基本的人権です

東日本大震災で被災した石巻市・女川町・名取市に行くと、市街地集落のほとんど、同時に漁船・養殖・漁場・岩壁・水産加工場及び田圃・揚水機・農業機械なども津波で壊滅状態でした。住宅や街を再建するだけでなく、収入確保のため農林水産業などの復興も不可欠です。

憲法は13条(幸福追求権)・25条(生存権)にて、人間らしい暮らしを実現する権利を保障しています。国には被災者の権利に応える責務があり、直ちに住宅再建と産業復興に公的資金を支出すべきです。地元住民の意思を尊重した産業復興も求められます。

(小部)

東日本大震災における原発周辺の避難者が多く発生しました。

この中には、転校を余儀なくされた児童も多く含まれています。一部では、この児童に対しての「いじめ」が起きています。その原因は原発に起因した放射能によるものです。被災地への支援も重要なことであると思いますが、このような児童に対する差別の解消も大切な支援だと思います。

(熊谷)

平成22年度全国中学生人権作文コンテスト

国分寺市内の中学校から789編の人権作文が寄せられました。

どの作文も人に対する思いやり—人権をテーマに書いてくださったことを思いますと、尊いものでした。書いてくださった皆さんに感謝の気持ちをお伝えします。

市長賞受賞作品はつぎのとおりです。

おばあさんの未来への思い	・・・	浅田 怜	(国分寺市立第一中学校 1年)
抱きしめよう	・・・	小鷹 あかね	(国分寺市立第三中学校 2年)
見えない苦しみ	・・・	四宮 陽我	(国分寺市立第五中学校 2年)
平和願う 核なき世界へ	・・・	鳥居 香菜	(国分寺私立第四中学校 2年)
人権を守るために	・・・	宮崎 真紀	(国分寺市立第一中学校 3年)

※50音順 (学年は受賞当時のものです)

選ばれた作文は、いずれも苦難のうちにある人々の苦しみや悲しみへの想像を働かせ、体験の中で生じた心の動きを豊かに表現しています。

3月の震災、津波、原子力災害は、人々の幸せと故郷を奪い、悲痛のどん底に落としました。これを乗り越えるため、救援と人々の助け合いが伝えられています。困った人を助けることは当たり前という考えは、今この国に満ちています。

次の時代を担う子どもたちが作文に示してくれた人々への暖かい共感の思いを抱きしめたい。これこそ震災、原発災害元年の絶望の中で見出すかすかな希望といえるでしょう。そのような気持ちを込めて、市長賞の作品をご紹介します。

(梓澤)

みんなで育てよう 人権の花



毎年、市内小学校の皆さんに花を育ててもらっています。

種から開花するまで育てることを通して、生命の尊さや他人を思いやる優しい心を身につけてもらうことが目的です。

昨年度は第七小学校・第八小学校の皆さんがサルビアとコスモスを育てました。

今年度は第九小学校・第十小学校にお願いしています。



(第七小学校のみなさん)



(第八小学校のサルビア)

子どもたちからの人権メッセージ

多摩地区から13市の小学生による意見発表会です。

国分寺市からは第三小学校6年の児童が発表します。

日時 9月10日(土) 午後1時～4時
場所 三鷹市芸術文化センター
風のホール

*昨年度は、国分寺市立いずみホールにて、第一小学校5年の岩田知暁さんと第二小学校6年の池上大也さんがメッセージを発表しました。

(増田)

子どもの人権 SOS ミニレター

昨年も全国小中学生を対象に、手紙で子どもの相談を受け付けるミニレターを実施しました。

東京都全体でも多くの手紙が寄せられました。いじめに関する相談がたくさんありましたが、一人で悩んでいること、困っていることを誰にも相談できず、「手紙だったら」と勇気を寄せてくれたものと思います。

子ども人権委員が一人ひとりに心を込めて返事を書きました。

(増田)



人権標語

あそぼうよ こえをかければ なかまだよ

(あらや あせい 七小3年)

思いやり 大切にする その気持ち

(清水 音志郎 七小4年)

心はね たった一つの たからもの

(江口 保奈美 七小6年)

きみのきもち ぼくがうけとって あげたいよ

(神村 陸 八小1年)

「ありがとう」 言ったきみにも 「ありがとう」

(岩切 歩花 八小2年)

いじめから 生まれるものは なにもない

(林 美雨 八小5年)

*学年は昨年度のものです。

第10回人権のつどい報告

—めぐみを帰して 拉致問題の一日も早い解決を!!—

昨年12月4日(土)に国際文化理容美容専門学校国分寺校ホールにて開催されました。市内外で広く活動されているジュニアミュージックシアターの皆さんの心温まる歌声に、会場はゆったり和やかな雰囲気になりました。

中学生人権作文の市長賞表彰式と作文朗読に続いて、アニメ映画「めぐみ」の上映と、横田滋さん早紀江さんご夫妻による講演が行われました。

387人のご来場があり、当日のアンケートでは「中学生の作文を聞いて、若い感性に感動した」「拉致被害者家族の生の声に、より痛みを共に感じる事ができた」など200人以上の方の声が寄せられました。「できることをしたい」という声も多くありました。

今回のつどいをきっかけに、一人ひとりができること、中学生の思い、横田さんの思いが、多くの方に広まり、あたたかい社会になるようにと心から願っています。

(木下)

冤罪をなくすために

厚生労働省の村木局長の冤罪事件は、証拠の偽造というショッキングな事実で世間によく知られることになりました。

本当に学ぶべきは、関係者の虚偽の供述が検察官によってねつ造されたことです。それによって、村木さんは潔白をはらすために苦しんだのです。

ウソの調書で無実の人が苦しんだ事件は少なくありません。

冤罪をなくすには、取調べを録音するか録画することです。よく見えるように。これを取り調べの可視化と呼びます。完全に実現すれば冤罪はなくなります。

(梓澤)

人権擁護委員になって思うこと

人権擁護委員をお引き受けして二年経ち、学ばせていただくことが沢山ありました。婦人科医師として、ドメスティックバイオレンス（夫や恋人からの暴力や性的嫌がらせ）に苦しむ女性に接することはありましたが、その他の様々な形の人権侵害があることを知ることができました。

私の診ていた患者さんが、職場の配置替えと慣れない業務内容から自律神経失調になり、体調不良を理由に解雇されそうになりました。会社の理不尽な対応を糾すべく、労働局への相談を勧めたところ、十分な退職金を貰い円満退社し、希望を持って新たな仕事を探していると話してくださいました。人権擁護委員として活動してきて、困っている方のお役にたてたことを大変嬉しく思いました。

これからも、身近な人権問題を見過ごさないように努力したいと思います。また、大勢の市民の皆様が、人権に関心を持っていて、講演会に集ってきてくださることはとても有難く、企画運営に携わることに喜びを感じています。

(石川)

人権身の上相談をご利用ください

H23年度の相談日

あなたの人権が侵害されたとき、生活の悩みや不安をかかえているときお気軽にご相談ください。人権擁護委員が相談を受けています。相談は無料、秘密は厳守します。どなたでもご利用になれます。お電話でご予約ください。

毎月 第2木曜日

午後1時～4時（一人1回30分）

場所 男女平等推進センター相談室 ひかりプラザ内

予約電話 042-573-4378

4月14日	10月13日
5月12日	11月10日
6月1日(水)	12月8日
7月14日	1月12日
8月11日	2月9日
9月8日	3月8日

6月1日は人権擁護委員の日特設相談



発行：国分寺地区人権擁護委員の会

【人権擁護委員：梓澤和幸・石川てる代・木下るみ子・熊谷淳・小部正治・増田加代子】

問い合わせ：国分寺市市民生活部 男女平等人権課 〒185-0034 国分寺市光町1-46-8 ひかりプラザ内

Tel: 042-573-4378 Fax: 042-573-4388 Email: jinken@city.kokubunji.tokyo.jp